

【西当別小学校】

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和4年度「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果分析がまとまりましたのでお知らせいたします。児童が取り組んだ、国語、算数、理科、そして、学習等に関する児童質問紙について、全道、全国との比較しながらの分析となっています。

なお、この結果については、本校の6年生を対象に国語、算数、理科の3教科のみの実施であることから、必ずしも本校全体の教育活動の結果を表すものでないことを申し添えます。



1, 国語・算数・理科の調査結果

本校児童は 今回出題された学習内容に関しては・・・

| 教科 | 全道平均との比較 | 全国平均との比較 |
|----|----------|----------|
| 国語 | 同程度 | やや下回っている |
| 算数 | やや下回っている | やや下回っている |
| 理科 | 同程度 | 同程度 |

2, 全体的なおおよその傾向

- ★各教科とも、全道平均正答率と同程度になっています。
- ★算数では、全道・全国の「正答数の少ない層」の範囲に含まれる児童の割合が、相当少ないことが本校の特徴として挙げることができます。
- ★ほとんどの問題で、無答率が0%でした。あきらめずに問題に取り組もうとする意欲や態度が表れていました。

国語

1, 内容の様子・特徴的な設問

<学習指導要領 内容の様子>

| 学習指導要領の内容 | 全道平均との比較 | 全国平均との比較 |
|-----------------|----------|----------|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | やや上回っている | やや上回っている |
| 我が国の言語文化に関する事項 | やや下回っている | やや下回っている |
| 話すこと・聞くこと | やや上回っている | やや下回っている |
| 書くこと | やや下回っている | やや下回っている |
| 読むこと | 下回っている | 下回っている |

<今回の調査における特徴的な問題> (○は成果のあった問題 ●は課題のあった問題)

- 文章の良さを伝える問題では、記述式であっても、全国平均正答率を大きく上回りました。
【文章の良さを伝える問題は、このようなものが出されました】

【文章2】

わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を教えてほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をアロクがして、各学級にしようかいいしたそうです。

この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことを、いばいせしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人も、ウレシむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいいたいです。

【伝え合いの様子の一部】

鳥谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。
川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことをもとにしているからだね。

鳥谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。

川口さん 最後の段落がいね。なぜかという点、最初の段落の内容をより具体的に書いてあるから、今年ががんばろうとしていることがくわしく伝わってきたよ。

鳥谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を伝えるね。

5 (伝え合いが続く)

【問い】 鳥谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが鳥谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

【条件】

- 【文章2】のよさを書くこと。
- 【文章2】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

【正答例】

わたしの文章のよさは、今年がんばりたいことを伝えるために、南さんの話や、さいばい委員の活動で反省したことを書いたり、運動委員として進めたい新たな活動を、最後のだん落に具体的に書いたりしたところです。(99字)

- 思考・表現・判断に関する問題では、全国平均正答率を大きく下回りました。

三 同じ学級の山村さんも、「銀色の幻想」を読み、すいせんする文章を書いています。次の「山村さんの文章」のBの中に入る内容として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【山村さんの文章】

この物語は、主人公の「ぼく」が自分と同じ名前のもけい店で「老人」と出会うことから始まる。「老人」は、未来の「ぼく」のすがたかもしれないのだが、読者にそう思わせる表現が文章全体に散りばめられている。そのため、読み進めるうちに、物語の世界にどんどん引きこまれていく。そして、最後の一文「ただ、透明な空の青さのなかで、ススキの穂波が銀色に光り、風にそよんでいるだけだった。」は、B

読み終わった後も物語の世界にひたることのできるおすすめ作品だ。

- 1 色の表現を使い、季節が変わったことを印象づけている。
- 2 「ぼく」が体験した信じられないような出来事を印象づけている。
- 3 空と風を表す表現を使い、「ぼく」が宇宙に行った不思議さを印象づけている。
- 4 「ぼく」が過去から現在にもどってきた安心感を印象づけている。

【正答】 2

2, 国語 改善の方向

- 漢字の読み書きの指導をさらに徹底することと、実際の場面で活用することを意識して指導していきます。
- 物語を読むときに、人物像や物語の全体像を想像したり、表現の効果を考えたりしながら読むことができるよう意識して指導していきます。
- 文章全体の構成や書き表し方に着目して文章を整えることができるように指導していきます。

算 数

1, 領域の様子・特徴的な設問

<学習指導要領の領域の様子>

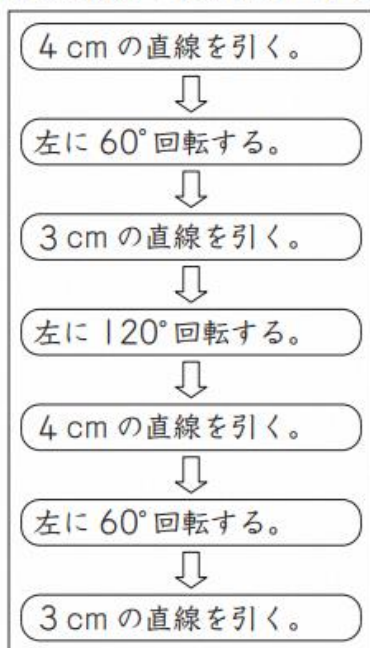
| 学習指導要領の領域 | 全道平均との比較 | 全国平均との比較 |
|-------------|----------|----------|
| 数 と 計 算 | やや下回っている | やや下回っている |
| 図 形 | 同程度 | やや下回っている |
| 変 化 と 関 係 | やや上回っている | 同程度 |
| デ ー タ の 活 用 | やや下回っている | やや下回っている |

<今回の調査における特徴的な問題> (○は成果のあった問題 ●は課題のあった問題)

○ 示されたプログラムでかくことができる図形を選ぶ問題では、全道・全国平均正答率を上回りました。

【このような問題が出されました】

【ひろとさんがつくったプログラム】



このプログラムを実行すると、右のように、スタート位置(●)から命令ごとに、●が➤の方向に進みながら直線を引いたり、矢印(↶)の向きに回転したりして、正方形をかくことができます。

【ひろとさんがつくったプログラム】を実行すると、どのような図形を描くことができますか。下の1から5までの中から一つ選んでその番号を書きましょう。

- 1 二等辺三角形
- 2 長方形
- 3 平行四辺形
- 4 ひし形
- 5 正六角形

【正答】 3

- 分類整理されたデータをもとに、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できるかどうかを見る問題では、全道・全国平均正答率を大きく下回りました。

【このような問題が出されました】

(2) お楽しみ会のアンケート調査の結果から、2つの遊びを決めます。



まなみ

選んだ人がいちばん多いビンゴと、その次に多いクイズに決めたらどうでしょうか。



ゆうた

選んだ人がいちばん多いビンゴをもとに、アンケート調査の結果を整理しました。一人一人が選んだ遊びを見てください。ビンゴとクイズに決めると、22番から24番の3人の希望が1つも通らないことになります。



あかり

ビンゴとクイズに決めてしまうと、全員の希望が通ったことにはならないですね。



そうま

24人全員の希望が1つは通るように、2つの遊びを決めることができますよ。

今回のアンケート調査の結果では、24人全員の希望が1つは通るように、2つの遊びを決めることができます。

その2つの遊びは、どれとどれですか。右の一人一人が選んだ遊びを見て、下の**1**から**4**までの中から**2つ**選んで、その番号を書きましょう。

- 1 クイズ
- 2 たからさがし 宝探し
- 3 しりとり
- 4 ビンゴ

【正答】 2 4

2. 算数 改善の方向

- 基本的な四則計算や公式を用いた計算の仕方は定着していますので、今後もドリルタイム等の時間を活用しながらより一層の定着を図っていきます。
- 言葉や、数、式、図、グラフ等を用い、さらに、算数的用語を正しく使いながら、筋道を立てて説明したり論理的に考えたりして、自ら納得したり友達を説得したりする言語活動の場の充実を図ります。

理 科

1, 領域の様子・特徴的な設問

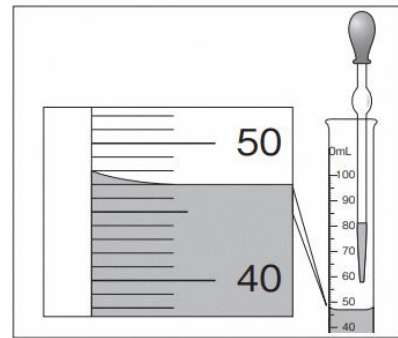
<学習指導要領の領域の様子>

| 学習指導要領の領域 | 全道平均との比較 | 全国平均との比較 |
|----------------|----------|----------|
| 「エネルギー」を柱とする領域 | 上回っている | やや上回っている |
| 「粒子」を柱とする領域 | 下回っている | 下回っている |
| 「生命」を柱とする領域 | 同程度 | 同程度 |
| 「地球」を柱とする領域 | 同程度 | 同程度 |

<今回の調査における特徴的な問題> (○は成果のあった問題 ●は課題のあった問題)

- 実験器具(メスシリンダー)の正しい扱い方を問う問題では、高い正答率が見られました。
【このような問題が出されました】

(2) (1)の器具に、次の図のように、50の目盛りよりも下まで水を入れました。50 mLの水をはかりとるためには、このあとスポイトでどれだけの水を入れるとよいですか。下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



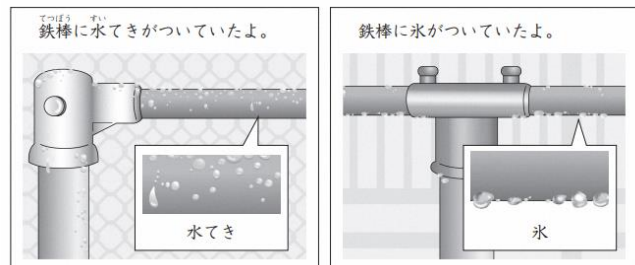
- 1 2 mL
- 2 3 mL
- 3 4 mL
- 4 6 mL

【正答】 2

- 水は、水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているか問う問題では、全道・全国正答率を大きく下回りました。

【このような問題でした】

朝、鉄棒に、水てきや氷がついていた。気温が下がり、空気中の が冷やされて、水てきや、水滴になったあと氷になる現象が見られた。左の写真は「つゆ」、右の写真は「とうろ」というらしい。気温のちがいによって、異なる現象が起こることがわかった。



【正答】 水蒸気

2, 理科 改善の方向

- 学習で習得した知識を、次の学習や生活などに生かすことができるようにすることや、科学的な言葉や概念を理解して説明できるようにすることを意識して指導していきます。
- 観察、実験などの後に結論を導きだすときに、予想と照らし合わせながら結果を捉えたり、自他の考えの比較を通して、自分の考えを見直したりしながら、多面的に考えるといった考え方を働かせて考察を行い、問題を解決できるようにすることの重要性について意識して指導していきます。

児童質問紙（学習状況調査）

1, 教科の学習・学校生活について

<今回の調査における特徴的な面>

- ◎ 全般的に、学習に対する関心意欲は高いことがわかりました。特に、算数は好きな児童が多いです。
- ◎ 学級で日常的に話し合い活動が行われていることによる成果が表れています。
- ◎ すすんで読書をする児童が少ないことがわかりました。

<今回の調査でわかったことと改善の方向>

- 日常的に読書をする児童が少ないことがわかりました。学校図書の実践や読書を推奨する取り組みを通して、読書習慣がつか環境を整えていきます。

2, ICT について

<今回の調査における特徴的な面>

- ◎ クロームブックの一人一台配置などによって、学校で、ICT機器の活用が図られていることがわかりました。

<今回の調査でわかったことと改善の方向>

- 今後は、効果的な使い方や、情報リテラシー教育について進めていくことが必要と考えます。

3, 生活習慣・学習習慣・学習環境について

<今回の調査における特徴的な面>

- ◎ ほとんどの子が家庭学習を1時間以上行っており、家庭学習の取り組みが習慣化されていることがわかりました。
- ◎ 毎日朝食を食べている児童が少ないことがわかりました。
- ◎ ゲームや動画視聴に多くの時間を割いている児童が多いことがわかりました。

<今回の調査でわかったことと改善の方向>

- 家庭学習については、このまま継続していけるよう、学校全体で取り組んでいきます。
- 朝食やゲーム、動画視聴などについては、学校だより等で家庭への周知を図る一方、望ましい生活習慣について児童自身が考えることができるよう指導をすすめます。

4, 規範意識・自己有用感について

<今回の調査における特徴的な面>

- ◎ ほとんどの児童が、将来について考えていることがわかりました。
- ◎ 児童全員がいじめはよくないと思うなど、規範意識が高いことがわかりました。
- ◎ 自分にはよいところがないと考えている児童が多いことから、自己有用感が低いことがうかがえます。

<今回の調査でわかったことと改善の方向>

- 日常的な振り返り活動を通して、自分のがんばりや良いところを見つめなおす経験を重ねる中で、自己有用感を高めていけるよう取り組んでいきます。

まとめ

- ◆ 今回の調査だけで全ての児童や一人ひとりのことを判断することはできませんが、本校では、これまでのデータも加えながら、今後の指導に役立てていきたいと考えています。
- ◆ 今回の調査で明らかになったことについては、次のように取り組みます。
 - ① 子どもたちの傾向の分析結果について職員間で交流し、学校全体で授業改善の意識を高めます。
 - ② 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用し、思考力・判断力・表現力を育成することを今後も継続的に取り組んでいきます。
 - ③ 規範意識の醸成に力を入れるべく、大人も子どももルール・マナーを意識した学校生活を心掛けていきます。
 - ④ これからも児童がのびのびと取り組んでいける教育環境の整備・充実を一層図っていきます。
- ◆ 今後もさらに児童一人ひとりの力を伸ばしていくよう努力して参ります。ご家庭でも、睡眠時間、運動時間、テレビやゲーム、動画視聴の時間などについて、適切な目安を設定し、より一層、子どもたちの学習習慣・生活習慣が確立できるよう、ご協力をお願いします。
- ◆ 本校の教育活動へのさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

次年度の全国学力・学習状況調査の日程

- ◆ 令和5年4月18日（火） 実施予定
新6年生が 国語 算数 児童質問紙に取り組みます。

